

平成29年7月28日（金）14時00分～16時00分

枚方市市民会館 3階 第3会議室

構成団体 (参加団体)	枚方市民生委員児童委員協議会	地縁組織 (地域活動団体)
	枚方市老人クラブ連合会	
	枚方市コミュニティ連絡協議会	
	枚方市校区福祉委員会協議会	
	シルバー人材センター	中間支援組織
	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ枚方拠点	NPO
	大阪高齢者生活協同組合	ボランティア団体
	枚方市介護支援専門員連絡協議会	民間企業 (職能団体) 社会福祉法人
	(欠席) 枚方市デイサービス連絡協議会	
	枚方市通所・訪問リハビリテーション連絡協議会	
	(欠席) 枚方市特別養護老人ホーム施設会	
	枚方市訪問介護事業者会	
	枚方市社会福祉協議会	社会福祉協議会
案 件 名	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービス事業等の実績報告について 2. 第2層協議体（元気づくり・地域づくり会議）の設置状況報告について 3. その他 	
協 議 事 項		
事 務 局	枚方市長寿社会部 地域包括ケア推進課 枚方市高齢者サポートセンター（地域包括支援センター）	

発言者	内容
<p>司会 (地域包括ケア推進課)</p>	<p>それでは定刻となりましたので、平成29年度第1回第1層協議体を開催いたします。 本日はご多用のなか、本会議にご出席くださりまして誠にありがとうございます。 本日、司会進行を担当させていただきます。地域包括ケア推進課中井です。よろしくお願いいたします。 まずは、開催にあたり、地域包括ケア推進課課長矢野より、挨拶させていただきます。</p>
<p>矢野課長</p>	<p>平成27年度に総合事業の大枠を検討し、第2層協議体の設立・事業体制の整備等についての検討、第2層協議体の活動評価や支援の方策等の検討、具体的な取り組みにおける事業の方向性について調整を行っていくことを目的として、第1層協議体を設立し、平成29年4月の介護予防・日常生活支援総合事業の開始に向けて、この間多大なご協力をいただきありがとうございます。 介護予防・日常生活支援総合事業の目的は、高齢者の孤立を防ぐためにあると感じています。この場を通じて、皆様からのご意見や情報を共有していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。</p>
<p>司会 (地域包括ケア推進課)</p>	<p>続きまして、今回は今年度第1回目であり、任期満了に伴い、第1層協議体委員が変わられた団体もございますので、皆さまの自己紹介を行いたいと思っております。 お名前をお呼びしますので、団体の役割や活動について自己紹介をお願いしたいと思います。</p>
<p>枚方市民生委員 児童委員協議会</p>	<p>枚方市民生委員児童委員協議会では、時代背景とともに相談内容も変わりますが、常に人々に寄り添う活動をしています。制度の狭間にいる人に寄り添い、支援に繋げる活動を、枚方市では500名を超える委員が行っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p>
<p>枚方市老人クラブ 連合会</p>	<p>枚方市老人クラブ連合会では、13,000人の会員が、友愛活動や健康づくり、奉仕活動をしています。まだまだ老人クラブに対する認知度は低いと考えており、現在はいかに支援体制を整えていくかが課題としてあります。皆様とも、連携を深めて活動していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>枚方市コミュニティ 連絡協議会</p>	<p>元気づくり・地域づくり会議に関しまして、枚方市コミュニティ連絡協議会は、現在未設置の地域における設置を推進していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>

<p>枚方市校区福祉委員会協議会</p>	<p>枚方市校区福祉委員会協議会では、長年に亘り地域の福祉を中心に活動を行っています。小地域ネットワーク活動を中心に枚方市の補助を受けながら活動しており、高齢者と子どもを結びつける世代間交流や、一人暮らし高齢者の見守り活動等、地域で様々な活動に取り組んでいます。</p> <p>元気づくり・地域づくり会議は、こうした既存の活動の延長にあると捉えており、どの様にそれらを結びつけることが出来るかを考えていきたいと思えます。</p>
<p>枚方市介護支援専門員連絡協議会</p>	<p>枚方市介護支援専門員連絡協議会では、15年以上に亘り枚方市で働くケアマネジャー約400名で組織された団体です。今までは、要介護になられた方とのサービスでの関わりでしたが、「元気な方は地域」ということに目を向けて、今までとは異なるサービスの在り方を考えていかなければならないと感じています。</p> <p>今後は地域との結びつきに重点を置いていきたいと思えます。</p>
<p>枚方市通所・訪問リハビリテーション連絡協議会</p>	<p>枚方市通所・訪問リハビリテーション連絡協議会は枚方市内の通所リハビリテーションと訪問看護ステーションの事業所が集まった任意の団体です。</p> <p>高齢者が在宅で、長く生活していけるように支援を行うため、事業所同士の横の連携から、勉強会の開催や、意見交換・情報共有等を実施しながら、質の向上に取り組んでいます。</p>
<p>枚方市訪問介護事業者会</p>	<p>枚方市訪問介護事業者会では、枚方市内にある176か所の訪問介護事業所のうち、106か所の事業所で組織された団体です。会員事業所は毎年増加していますが、働き手は年々減少しているのが現状としてあります。</p> <p>高齢者が地域で長く生活できるように、サービスの質を上げる取り組みを行っています。</p>
<p>シルバー人材センター</p>	<p>シルバー人材センターでは、2,670名程の60歳以上方が会員として登録しています。会員の中には、介護予防・日常生活支援総合事業に興味を持つ方が増えてきています。</p>
<p>特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ 枚方拠点</p>	<p>特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブは、全国に120拠点あり、海外にもアメリカ、イギリス、オランダ、スイスに拠点があります。枚方拠点には800名程の会員が、会員同士の助け合いと、奉仕活動の2点を軸に活動しています。</p> <p>4月からは地域貢献として、枚方市の介護予防・日常生活支援総合事業の生活援助訪問事業に参画しました。</p>
<p>大阪高齢者生活協同組合</p>	<p>大阪高齢者生活協同組合は、福祉の生活協同組合として、枚方市では地域包括支援センター、介護保険事業所、生活援助訪問事業所の運営と、自費サービス等の提供など様々な活動をしています。</p> <p>大阪高齢者生活協同組合でも、枚方市の介護予防・日常生活支援総合事業の生活援助</p>

	訪問事業に参画していますが、働き手の確保を課題として感じているところです。
枚方市社会福祉協議会	枚方市社会福祉協議会では、地域福祉の推進を目的に、様々な事業を実施しています。また、コミュニティーソーシャルワーカーが5名在籍し、地域における様々な困り事に対応している他、元気づくり・地域づくり会議にも出席しています。
案件1 サービス事業等の実績報告について	
事務局説明	<p>配付資料：資料1-1 介護予防・生活支援サービス事業実績報告書</p> <p>資料1-2 介護予防・生活支援サービス事業の効果</p>
司会 (地域包括ケア推進課)	今の説明に対して質問やご意見はございますか。
枚方市介護支援専門員連絡協議会	生活援助訪問事業の利用に関して、サービスの終了を目指すことは想定されているのでしょうか。
事務局	自立が可能な方はサービスの終了を目指しますが、元の自立した状態に戻る事が困難な、支援が必要な方については、継続して支援していきます。
枚方市介護支援専門員連絡協議会	支援が必要な方には、生活支援員が引き続き支援を実施するのでしょうか。
事務局	アセスメントの結果、その方の状況に応じて必要なサービスを選択することになります。
枚方市通所・訪問リハビリテーション連絡協議会	<p>リハ職行為評価事業について、この事例に携わりましたので、感想を皆さんと共有したいと思います。Bさんの様に、足が浮腫み、病院へ受診すると足を上げて寝るようにアドバイスを受けることが多々あります。腰にも痛みがあったので、リクライニングを少し起こした状態で、足と頭が起きた状態になり、寝返りも打てない状況でした。</p> <p>そのため、まずは足を下ろしベッド上での動きがとれるようにし、浮腫みについては病院を受診するよう伝えました。</p> <p>その後、歩行器を選定して提案するのですが、Bさんと話をする中で、過去にリハビリを受けた際にすごく痛くなったことがあり、リハビリに対してネガティブな感情を持たれていました。その為Bさんに対しては、歩けるようになるためにリハビリをしましょうと伝えることは難しく、話をする中で聞いた、Bさんが夫と歩行器を使って歩く練習をしているという部分に着目しました。Bさんは円背姿勢でしたが、使用していた歩行器は、体重を預けることが出来ない形状で、円背姿勢の方には適さないものでした。元々歩く練習をしていたということで、運動に対する意欲が高い方でしたので、その部</p>

	<p>分を伸ばそうという発想をしました。そこで、円背姿勢の方でも、楽に長く歩ける歩行器を提案し、単にリハビリを頑張りましょうと言うのではなく、今取り組んでいる散歩の練習を、質の高いものにしましょうと伝えることで、リハビリに対する意識が変わり、在宅での生活がより良くなったケースでした。</p>
<p>特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ 枚方拠点</p>	<p>資料1-2 介護予防・生活支援サービス事業の効果の事例1に関して、利用者が、訪問介護員と生活支援員の違いについて、理解されないままサービスを利用することを危惧しています。</p> <p>訪問介護員と生活支援員の違いについては、誰が説明するのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>生活援助訪問事業の連絡調整は、枚方市地域包括支援センターが行います。利用者には、心身の状況に応じた介護予防ケアマネジメントにより、自立に向けた適切なサービスを提案しますが、その際に訪問介護員と生活支援員の違いについても説明しています。</p> <p>また、生活支援員は介護の専門職である訪問介護員とは異なり、利用者と同じ目線に立って家事援助を行いますので、Aさんのように、訪問介護を受けていた時と同じ時間に同じ支援を受けるために、一緒に家事を行ったことで、少しずつAさん自身で行える家事が増えていき、自立に向かっていく効果が現れています。</p>
<p>枚方市訪問介護事業者会</p>	<p>生活援助訪問事業について、好事例の紹介がありましたが、実際に事業が始まってから課題に感じることはありますか。</p>
<p>大阪高齢者生活協同組合</p>	<p>生活支援員をいかに増やし確保していくかを課題に感じています。特に若い世代が働き手として少なく、高齢の生活支援員の中には、移動手段が徒歩であることから、訪問可能な範囲に限りがあり、利用者のニーズに上手く合わせる事が出来ないといった現状があります。</p>
<p>特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ 枚方拠点</p>	<p>生活支援員は、働くことに意欲が高い方が多く、生活支援員養成研修修了後、実際に依頼を受けて活動していただくまでに時間を要することから、依頼した時には既に他で働いていたというケースもありました。</p>
<p>枚方市校区福祉委員会協議会</p>	<p>第1層協議体に出席して感じることですが、介護保険事業者と、地域が混在した会議であり、両者がどこでどの様に結びつくのかと疑問に感じています。</p>
<p>事務局</p>	<p>介護予防・日常生活支援総合事業は、要支援の方へのサービス事業と介護予防の取り組みと元気づくり地域づくりプロジェクトを一体的に行うことによって、元気な高齢者から少し支援が必要な高齢者までを支えていくものです。その為、第1層協議体ではサービスに関する話であったり、介護予防に関する話であったり、地域に関する話が混在することになりますが、要支援の方であっても、サービスを受けている方であっても、地域の中で生活されていることから、介護保険事業者もサービスを提供している自事業所の方のみと関わっていれば良いというものではなく、地域の中の1つの資源として一緒に何かが出来るといった形にしていきたいと考えていますので、この場で一緒に協議を行いたいと思います。</p>

案件2 第2層協議体（元気づくり・地域づくり会議）の設置状況報告について	
事務局説明	<p>配付資料：資料2-1 元気づくり・地域づくり会議の設置状況</p> <p>資料2-2 元気づくり・地域づくりコーディネーター （第2層生活支援コーディネーター）の活動方針（取組内容）</p>
司会 <small>（地域包括ケア推進課）</small>	今の報告に対して質問やご意見はございますか。
枚方市校区福祉委員会協議会	私の校区では、ひらかた元気くらわんか体操を、老人会の後や歌を楽しむ会の時に実施しています。また、自治会でも、喫茶を開くなど、今までやってきた地域活動の強化に繋がっています。今後は、地域における活動の実績を蓄積し、周囲とこんな風にできたよと、情報を共有していきたいと考えています。
枚方市老人クラブ連合会	私が携わる校区には、老人会に対する認知度が低いところがあります。今後は、老人会とコミュニティ協議会が、ひらかた元気くらわんか体操を共通のツールとして、交流を図る機会を創りたいと考えています。今あるものを可能な限り使い、それを広げていくことで、地域づくり、居場所づくりを進めていくことが出来ると思います。また、単独では難しい取り組みであっても、各団体と協力体制を構築し、連携し合うことで取り組むことができると考えています。
枚方市民生委員児童委員協議会	<p>私の校区では、地域の居場所づくりに10年前から取り組み始めています。例えば、コミュニティ協議会がNPO法人格を取得してサロンを開き、そこを散歩のゴールにして、お話やお茶を飲んで帰っていただくといった取り組みをしています。</p> <p>また、歌声喫茶を月1回、ひらかた元気くらわんか体操を各老人会や高齢者の集いで実施している他、こうした集まりにおいて、各々が持つ情報を共有しています。</p> <p>中にはこうした集まりに出てこられない方もいますので、そうした方には民生委員が個別に訪問し、集いや活動の周知を行っています。</p>
事務局	それぞれが可能な範囲で、住みやすい地域を創っておられますね。他に何か質問やご意見はございますか。
枚方市校区福祉委員会協議会	高齢者居場所づくりの補助金について、運営費は補助の対象にならないのでしょうか。運営する側はボランティアであったとしても、コーヒーやおやつ等にかかる費用は、来た人が支払うのでしょうか。
事務局	高齢者居場所づくり事業の補助金は、スタート支援として20万円を上限に支出しますので、運営費については補助の対象となりません。お客様をつくるのが目的ではなく、居場所に来た方全員が、そこに居場所がありそれぞれの役割がある環境を創りたいと考えています。
枚方市校区福祉委員会協議会	今ある居場所づくりに関わる事業は、運営費が補助の対象となっているからこそ、事業として成り立っている側面があり、そこを補助の対象としないことには難しいと思います。

事務局	<p>今ある居場所とは異なり、高齢者居場所づくり事業は、お世話をする人、お世話をされる人を隔てない居場所を創りたいと考えています。その理由は、自らの自主性を育てていくことにあります。自主性をなくして、自らの健康や元気づくりには繋がっていかないと考えています。</p> <p>ご指摘のとおり、事業が開始すると様々な課題が出てくるかと思いますが、この第1層協議体で課題についても検討していきたいと考えています。</p>
枚方市介護支援 専門員連絡協議 会	<p>私達は要介護の方が、従来活動していた地域に、もう一度戻ってこることが出来るように支援しています。介護保険制度の枠組みの中で居場所や楽しみを見つけるのではなく、今まで過ごしてきた地域の中で、役割や楽しみを再び見つけることが出来るように、また、地域に帰ることが、リハビリの励みになるような支援を心掛けています。</p> <p>そうした方を、地域の方にも受け入れていただければと思います。</p>
案件3 その他	
事務局報告	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>配付資料：参考資料 大阪ええまちプロジェクトについて（概要） 大阪ええまちプロジェクトについて（内容）</p> </div>
司会 <small>（地域包括ケア推進課）</small>	<p>まだまだ皆様のお話をお伺いしたいところではございますが、そろそろお時間となりましたので、これで平成29年度第1回第1層協議体を終了いたします。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>